

# 第51回「耳の日」実施報告書

平成18年3月3日

一日耳鼻都道府県地方部会から

都道府県	無料相談の実施状況	講演会・映画会などの実施状況	報道機関の協力状況
北海道	耳の日記念「耳の無料相談会」を以下の要領で行った。 ◎相談会内容 1. 医療相談 2. 聴力測定 3. 身体障害者手帳交付相談 4. 身体障害者補装具交付相談 5. 難聴児教育相談 6. 補聴器の相談 ◎会場 旭川 (2/23)、札幌 (3/3)、 釧路 (2/19)、函館 (2/26)	2月25日(土)「3月3日は耳の日 『耳を大切に』 - 耳の日記念 市民公開講座」を旭川市で行った。 ◎挨拶及び講演 1. 挨拶 原渕保明先生 (旭川医大) 2. 講演 「耳寄りな聞こえの話」 安部祐介先生 (旭川医大) 「補聴器と人工内耳 - 使わにゃ損 -」 片田彰博先生 (旭川医大)	なし。
青森県	3月3日(金)13:30～15:00まで、 八戸市総合福祉会館で 耳の健康相談を行った。	3月3日(金)13:00～13:30まで、 八戸市総合福祉会館にて 「耳の日市民健康相談」の講演会で 橋本敏光先生が「耳の聴こえが 悪くなる時」という題の教育講演を 行った。 3月22日(水)19:00～20:00まで、 工藤先生が「信州大学の難聴の診断・ 治療の現状と宇宙実験の途中結果 報告」という題の講演を行った。	なし。
岩手県	2月26日(日)10:00～13:00まで、 岩手医大循環器医療センター8階 で無料相談を実施した。 後援：岩手県、盛岡市、岩手医科 大学、県・市医師会、大学医師会 実施者：医師27名(地方部会員12名 岩手医大15名)聴力検査技師3名 看護師3名、補聴器技能士2名、 協賛者7名 実施内容：相談内容を問診後、医 師が診察。必要時聴力検査を施行。 その上で医師が説明室にて個別に 検査結果などを説明し、今後の アドバイスを行った。 場合によって補聴器相談も施行。 個人の結果はコピーして相談者 にお渡しした。 相談者：62名(男性25名、女性37名 平均年齢60.7歳)	なし。	盛岡市および周辺地域の広報、タウ ン誌、新聞(岩手日報、盛岡タイム ス)などを通じて宣伝。 当日は盛岡タイムスの取材を受けた。
宮城県	3月5日(日)11:30～12:00まで、 仙台市医師会館にて無料医療相談 コーナーを設け、計7名の耳鼻咽喉科 医の協力を得て約60名の相談に 応じた。	3月5日(日)10:00～11:30まで、 講演会とその質疑応答を行った。 今年のテーマとして「治りにくい 感染症」と題し、鈴木耳鼻咽喉科・ アレルギー科医院・鈴木直弘先生の 司会のもと、東北大・矢野寿一先生に よる「知って得する子供の急性中耳炎」 、東北労災病院・沖津尚弘先生に よる「知らぬと怖い大人の咽頭炎」と 題した講演が行われた。 聴衆は120名で大盛況であった。	後援先に報道依頼を事前に行ったため 各新聞(毎日・河北新報)、 ラジオ(ラジオ3)、テレビ局 (NHK仙台放送局)より協力を得て 案内が掲載された。週に2回、河北新報 夕刊に広告を載せ、河北Weekly、 朝日Willなどにも催しの案内をした。
秋田県	なし。	なし。	なし。
山形県	3月3日(金)14:00～17:00まで、 山形県福祉相談センター1階会議室内で 山形市医師会、山形県福祉相談 センターなどの協力のもと「耳の日の 無料相談」を行った。 医師2人で相談にあたり、 相談者は38名であった。	なし。	NHK山形、FM山形、さくらんぼテレビ およびテレビユー山形では番組内にて 告知された。山形市広報では「耳の 日無料相談」の記事を掲載させて いただいた。庄内日報には「耳鳴」に 関する記事を掲載した。

福島県	無料相談室：3月3日(金)13:00～15:00 郡山市身体障害者福祉センターにおいて、耳の健康診断、聴力検査などを実施した。 電話・Faxによる相談室:3月3日18:30～20:30、福島市医師会内で耳の病気に関して耳鼻科医が相談に応じた。	なし。	「福島民報」と「福島民友」の二大地方紙に、医療機関の広告を掲載した。「福島民報」に43医療機関「福島民友」に41医療機関の広告が掲載された。大森地方部会長の挨拶として、子供と高齢者の難聴について説明した。また、無料相談室と電話・ファックスによる相談室の案内を入れた。
茨城県 栃木県	なし。 3月5日(日)11:00～16:00まで東武宇都宮百貨店において、「耳の日無料相談」を行った。 本年は、獨協医科大学、国立病院機構栃木病院、自治医科大学から各1名(計3名)が参加した。当日は晴天で気温が12度とやや肌寒い気候であったが、相談者は44名と例年と同様で比較的盛況であった。 相談者はこれまでと同様に耳鼻科受診歴があり、さらに詳しい説明を求めて来場された方が多かった。 相談内容については、約半数が難聴で次いで耳鳴、補聴器の相談、めまい、中耳炎などであった。	なし。 なし。	なし。 2月18日リビングマロニエ掲載 2月末日栃木マリオン(朝日新聞社)掲載 3月2日 下野新聞掲載 3月3日 暮らしの中の健康シリーズ 耳に関する耳よりな話(朝日新聞社)掲載
群馬県	平成18年2月26日9:30～12:00まで群大附属病院内刀城会館において「耳の日、難聴と補聴器相談」を行った。 相談者数：32名、平均年齢：69歳 相談内容：難聴の原因、耳鳴の原因・治療、補聴器の可否。所有補聴器の相談など。 上記の相談に対して、病態についての説明や治療法の指導を行った。 相談者からは、ゆっくりと分かりやすい説明でとても良かった等の感想が寄せられ、大変好評であった。	なし。	上毛新聞ほか数誌において、今回の「耳の日、難聴と補聴器相談」を大きく取り上げられた。
埼玉県	なし。	3月5日(日)埼玉県民健康センター大ホールにおいて「耳の日」記念のつどいを開催した。 講演は、1.「聴覚的認知力と言語障害～聞こえるのに言葉が聞きとれない、言葉は聞き取れていても意味がわからない～」宇野彰先生(筑波大) 2.「難聴って何?～きこえについての質問紙の利用～」岡本牧人先生(北里大)で、参加者は250名であった。	地方紙(埼玉新聞社)からの取材報道があった。
千葉県 東京都	なし。 3月3日(金)に有楽町マリオン朝日スクエアにて補聴器無料相談会を開催し、60名の応募があったが、当日53名が参加した。	なし。 なし。	なし。 朝日新聞の地方版(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県、山梨県)に補聴器無料相談会の募集記事を掲載。
神奈川県	3月5日(日)10:00～16:00まで、神奈川県総合医療会館において、ポスターや案内を見て応募してきた40名の一般市民に対して難聴と補聴器の相談会を行った。 相談医師：耳鼻科専門医8名 相談技能士：補聴器販売店協会会員15名  上記とは別に2月26日(日)に横須賀市ろう学校で「補聴器の相談会」を行った。相談者：20名	なし。	相談会の案内を毎日新聞、読売新聞、タウン誌に掲載。

新潟県	3月5日(日)に三条市総合福祉センターで、「耳の日」無料相談を行った。 担当医師：6名 相談患者数：25名 ◎相談状況 患者年齢：40歳以下2名、40歳台1名、50歳台2名、60歳台7名、70歳以上13名 主訴：難聴23名、耳鳴5名、補聴器相談6名、身障者認定に関する相談2名。 難聴の程度：軽度18耳、中等度25耳、高度7耳。 最終診断：感音難聴23名、耳鳴2名、慢性中耳炎2名、耳垢塞栓1名。 受診者への対応(延べ人数)： 専門医受診4名、経過観察8名、補聴器使用9名、補聴器調整・更新3名、補聴器試聴3名、身障者申請2名。	なし。	なし。
富山県	3月5日(日)富山県総合福祉会館・サンシップとやまにおいて「耳の日無料相談会」を実施した。 相談会には85名が訪れ、日耳鼻会員(開業医3名、大学所属医師ら19名)だけでなく、保健師、看護師、県更生相談所、聾学校教員、言語聴覚士、補聴器専門店、各聴覚障害者団体、手話要約筆記サークル、学生ボランティアなどの参加を得て、盛況のうちに終わった。 関連機関の横のつながりを確認する意味でも、年に一度のイベントとして定着してきた。	3月5日(日)無料相談後に「市民公開講座」を実施した。約60名の市民参加者を得て、「ここが聞こえない耳鼻科の病気」というタイトルで、耳以外の疾患についてもシンポジウム形式で講演を行った。 (司会:渡辺行雄、講師:藤坂実千郎、伏木宏彰、石田正幸)。その後、質疑応答を受けつけ、熱心な討論があった。	市報、新聞、テレビ、ラジオ等の他、情報誌などにも掲載して、事前PRを行った。例年のイベントとしてメディアなどでも定着してきたこともあり、比較的スムーズに利用できるようになった。事前のテレビ、ラジオ取材のほか、当日の相談会の内容も新聞記事などで紹介された。  報道協力機関：富山大学広報誌、富山大学人間発達学部、杉谷キャンパスかわら版、サンシップHP、トヤマウェブ・ドット・ネット、みるとく、(株)ケー・シー・シー富山支店、富山シティFM、NHK富山、CATV(北日本新聞)、富山新聞、読売新聞、北日本新聞、朝日新聞富山
石川県	3月5日(日)10:00~12:00まで金沢市文化ホール大会議室で実施した。 耳鼻咽喉科専門医、石川県言語聴覚士会、石川県ろう学校、補聴器販売店協会の協力を得た。聴覚と言葉の発達相談、聴力検査、補聴器の試聴などを実施した。	3月5日(日)11:00~12:45まで金沢市文化ホール大会議室で、講演会を開催した。 演題項目： 1. 石川県の新生児聴覚スクリーニングについて 2. 補聴器相談医制度について 3. ご存知ですか？言語聴覚士のこと 4. 金沢方式について 5. ろう学校、みみより話 6. 認定補聴器技能者とは 7. 特別講演「音は身体全体で聴く」、自分の耳の状態を知ろう また、同日、13:30~15:30に金沢都ホテルで行われた第3回「耳の日フェスタ2006」を後援した。	地元紙である北國新聞、北陸中日新聞が広告掲載、また広報・後追い記事を掲載した。また、金沢市医師会の広報誌「すこやか」に広報を掲載した。
福井県	なし。	なし。	福井新聞に「耳の日について 耳疾患特集」を掲載した。また、FBCで人工内耳について特集番組を作成した。
山梨県	3月5日(日)に「こうふアレッジ」大会議室で行われた講演の後に相談会を実施した。	3月5日(日)に「こうふアレッジ」大会議室(甲府市営の無料の多目的ホール)で講演会を実施した。 記念講演 「山梨県における小児難聴の現状」 1. 「療育の立場から」 金子正子先生(山梨県立ろう学校) 2. 「診療の立場から」 今村俊一先生(山梨大学講師) 60名の来場者があり好評であった。	報道機関30社に文書通達で取材の要請をした。地元新聞(山梨日日新聞)にカラー写真で掲載された。
長野県	信州大学附属病院、相澤病院、諏訪赤十字病院、市立岡谷病院にて実施した。	なし。	長野県各報道機関に「耳の日」の無料相談について通達した。
岐阜県	3月5日(日)に岐阜大学附属病院で行われた「耳の日のつどい」の講演終了後、地方部会会員により、個人面談にて耳鼻咽喉科疾患全般についての無料相談を実施した。 7名の方の質問に対応した。	3月5日(日)13:00~15:30まで岐阜大附属病院の多目的ホールで、「耳の日のつどい」を開催した。 ビデオ(難聴に関するもの)の上映後地方部会長の挨拶を行った。 講演1. 「耳のふさがり感について」村井道典先生(岐阜大助手) 2. 「中耳炎について」横山壽一先生(中濃厚生病院耳鼻科部長) 3. 「補聴器をはじめて使用する人のために」坂博一氏(理研産業補聴器センター技術製造部長)。参加者は26名であった。	3月3日、岐阜放送・岐阜新聞社の協力により耳疾患についての討論座談会の記事および講演会開催のお知らせの掲載を行った。

静岡県	無料相談としての独立した事業はないが、講演会の後の質疑応答で相談に答える形とした。	2月26日(日)13:30～16:00に 静銀ホールユーフォニアで「耳の日」 市民公開講座を開催した。 行木英生先生(静岡赤十字病院院長)の 司会のもと、1.「きこえの仕組み」 高木明先生(県立総合病院耳鼻科部長) 2.「聞こえを回復して生きる」峯田 周幸先生(浜松医大教授)の講演を 行った。 入場無料、自由席400席 主催：静岡県地方部会、静岡県耳鼻 咽喉科医会 後援：静岡県健康福祉部 結果としての参加者は大雨注意報も あって少なかった。	静岡新聞で「耳の日」講演会の 事前のお知らせと事後の報道が なされた。
愛知県	なし。	なし。	2月27日(月)10:30～11:00に 「耳の日」の啓発にむけて、「健康 ワンダブル」(テレビ愛知)の番組に 地方部会学術部委員長 稲福 繁先生 が出演し放映された。タイトルは 「加齢にともなう難聴」。
三重県	3月12日(日)桑名市保険センターで行わ れた。内容は、聴力検査、検診、医療 相談、補聴器相談で日耳鼻会員医師 7名(大学病院0名、地区勤務医1名、 開業医6名、欠席2名)が無償で 参加した。会場の設営から進行まで 地方部会員が行った。桑名市中央 保健センター職員の協力もお願い できた。来場者は40名(聴力検査と 相談)であった。	3月12日(日)桑名市保険センターで、 講演「聞こえのしくみと難聴の種類に ついて」岡本耕典先生(四日市市民 病院院長)、「手術で聞こえの良く なる病気について」吉村栄治先生 (県立医療センター院長)が一般市民 を対象に行われた。講演後、フロア よりの質疑応答時間を設定した。 来場者は53名(記帳者のみの集計)で あった。	本年は桑名医師会・三重県医師会 の後援をいただき、地区医療機関での 広報を行った。行政では桑名市保健 センターの協力を得た。 報道機関では、地区ケーブルテレビ 撮影があり、地域で紹介された。 近隣市の員弁市でも広報活動協力を 得た。
滋賀県	3月21日(火)(春分の日)に、 近江八幡市市民共生センターにて 医師2名による検診、聴能技師4名に よる聴力検査・補聴器適合検査および 装用指導を行った。	なし。	なし。
京都府	2月25日(土)京都市身障者リハビリセンター で耳と補聴器の相談を行った。 相談者は55名であった。 3月2日(木)盲人福祉施設ライトハウスで、 3月5日(日)京都産業会館で(公開講演 会終了後)、耳の無料相談を行った。 それぞれ相談者は120名、50名で あった。	3月5日(日)京都産業会館シルクホール にて、第51回耳の日記念公開講演会 「聞こえを大切に」を行った。 1.「聞こえのしくみと難聴」 鈴木敏弘先生(京府医大講師)、 2.「耳鳴りの起こり方とその治療法」 伊藤壽一先生(京大教授)。 参加者は約300名であった。	京都新聞、京都市ペンギン、朝日新聞、 FM845(京都ローカルFM局)において 開催案内が掲載・放送された。
大阪府	2月19日に「耳の日特別相談会」を 大阪市立大学と東神実業の共催で 行った。相談者は219名であった。 2月26日に「補聴器無料相談会」 を大阪府耳鼻咽喉科医会主催で行 った。相談者は48名であった。	1. 2月26日毎日新聞ホールにて、耳 の日セミナー「耳の健康を考える」を 開催した。主催は大阪府耳鼻咽喉科 医会で、森崎昇先生、土井直先生、 村田清高先生が講演した。 受講者は380名であった。	1. テレビ大阪「健康手帳」にて放映 2月14日に久保伸夫先生が、2月28日に 浅井英世先生が講演した。 2. 毎日放送ラジオ「ドクターM」にて 放送、2月4日・11日・18日・25日に吉田 淳一先生が講演した。 NHKラジオ「関西ラジオワイド・季節 の健康」にて放送、2月22日、3月8日 に佐々木隆晴先生が講演した。
兵庫県	神戸大学付属病院耳鼻咽喉科外来 3月1日(水)14:00～16:00 相談：5名 兵庫医科大学付属病院耳鼻咽喉科外来 3月1日(水)9:00～10:30 相談：20名 神戸中央市民病院耳鼻咽喉科外来 3月3日(金)午前中 相談：3名	播州地区：3月2日(木)13:30～15:00 明石市保健センターにて 「難聴について」と題して永尾 光 先生(明石市民病院)が講演した。 参加者は45名、補聴器相談は10名。  神戸地区：3月4日(土)13:30～16:00 神戸市勤労会館にて、「中耳炎と 難聴について」後藤友佳子先生 (甲南病院)、「めまいのお話」 雲井一夫先生(神戸赤十字病院)の 講演を行った。参加者は70名。  阪神地区： 3月4日(土)14:00～16:00 川西市保健センターにて「聴こえの 相談」を行った。参加者は22名。 3月5日(日)10:00～12:00 宝塚市総合福祉センターにて 「宝塚耳の日の相談会」を行った。 参加者は72名。 3月5日(日)12:00～16:00 三田市総合福祉保健センターにて 「耳の日のつどい」講演と耳の相談 を行った。参加者は150名。	2月25日の神戸新聞朝刊に「耳の日 座談会」として記事が掲載された。 出務医は、五十嵐充先生、西村輝光 先生、深澤元晴先生で、テーマは 難聴と補聴器、めまいであった。

奈良県	3月2日(木)奈良県社会福祉総合センター(橿原市)において、地方部会会員5名、聴力検査技師2名、全国補聴器販売店協会奈良県支部の補聴器説明員数名、奈良市要約筆記サークル、奈良市医師会職員の協力を得て、無料相談を実施した。参加者は約30名。聴力検査と耳の病気の個人相談や補聴器装用に関する指導などを行った。 主催：地方部会、奈良県耳鼻科医会、医師会耳鼻咽喉科部会三部会	3月3日(木)奈良県社会福祉総合センター(橿原市)において、細井裕司先生(奈良医大教授)による「耳の病気と補聴器、人工内耳—どうしたら聞こえる?—」の講演を行った。	毎日、朝日および奈良新聞と奈良県の市町村広報紙に掲載された。
和歌山県	各病院にて実施。	なし。	新聞に各病院の無料相談実施日を掲載した(朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、日経新聞、和歌山新報等)。
鳥取県	なし。	3月4日(土)13:00~16:00に鳥取市総合福祉センターにて、会員向けに講演を行った。 1.「人工内耳の基礎と臨床」長谷川賢作先生(鳥取大) 2.「小児難聴と人工内耳」畠史子先生(鳥取大) その後、人工内耳装用者の体験発表と質疑応答を行った。	なし。
島根県	3月5日(日)講演会終了後に松江市で無料相談会を実施した。	1.会員対象の講演会(地方部会研修会)平成17年11月12日(土) 「虚血性内耳疾患とその治療」 暁清文先生(愛媛大教授) 2.会員対象の研修会 平成18年3月5日(日) 地方部会主催補聴器講習会 3.一般市民への講演会 平成18年3月5日(日)松江市にて 「聞こえの仕組みと耳の病気」	ローカルテレビ(ケーブルビジョン)の番組「いきいき健康講座・まめなかくらぶ」に地方部会長(川内秀之先生)が出演し、耳の病気(真珠腫性中耳炎慢性中耳炎、滲出性中耳炎など)についての解説を行った。
岡山県	なし。	3月12日(日)に岡山県難聴者福祉協会、岡山県聴覚障害者協会と合同で、一般市民を対象とした「耳の日の集い」を開催した。NHK手話キャスターの田中清氏の「手話とわたし」の講演と山崎繁氏のパントマイム、補聴器とその周辺機器の展示、難聴関係図書の展示販売を行った。 参加者は約300人。	山陽放送、山陽新聞、NHKなどにおいて「耳の日集い」の報道が行われた。
広島県	3月5日(日)広島市・福山市にて「難聴・補聴器よろず相談会」を同時開催した。 広島会場：医師8名・言語聴覚士3名・補聴器認定店5店・更正相談所員2名で相談にあたり、54名の参加があった 福山会場：医師3名・言語聴覚士2名・補聴器認定店3店・更正相談所員2名で相談にあたり、27名の参加があった	なし。	中国新聞・リビング広島・リビング福山への広告掲載。
山口県	なし。	①3月11日(日)14:00~16:00までスターピアくだまつ(下松市)で、「耳の日」市民公開講座を開催した。 耳寄りな「耳の話」～中耳炎について 1.「中耳炎Q&A～小児の急性中耳炎と滲出性中耳炎～」清水敏昭先生(しみず医院) 2.「中耳炎Q&A～中耳炎の手術治療～」田村光司先生(周南記念病院) 3.「最近の耳の話題」a)「難聴の早期発見～新生児聴覚スクリーニング～」山下裕司先生(山口大教授) b)「最近の補聴器について」池田卓夫先生(鼓ヶ浦こども医療福祉センター) ②3月23日(木)18:00~20:00まで山口県立聾学校にて「難聴児の療育、教育に関する意見交換会」を行った。 内容：それぞれの機関での療育、教育体制について、療育・教育上の問題点、課題、個々の事例についての意見交換。 ③3月3日(金)岩国市医師会主催の講演会で、新井基洋先生(横浜市立みなと赤十字病院部長)が「めまいの診察と治療講演会～めまいのリハビリテーションを中心に」の講演を行った。	「耳の日」の広報が地方紙(宇部日報)に掲載された。

徳島県	なし。	①3月5日(日)に徳島東急インで武田憲昭教授(徳島大)による講演「高度難聴と人工内耳」が行われた。講演終了後、質疑応答が行われ、盛会裏に終了した。来場者は約90名。 ②3月12日(日)にふれあい健康館(障害福祉センター)で福島邦博先生(岡山大)による講演「新生児聴覚スクリーニングとその影響」が行われた。講演会終了後、引き続きシンポジウム「難聴児の早期発見とその支援～よりよい連携をもとめて～」が行われた。司会:長尾公美子先生(県立ろう学校)、福島邦博先生(岡山大)、鎌田周作先生(恵愛クリニック)、宇高二良先生(宇高耳鼻科医院)、清重康代先生(県立ろう学校)、有馬麻紀先生(徳島市保健センター保健士)会場からの質疑応答もあり盛会であった。来場者は約90名。	なし。
香川県	3月5日(日)耳の日講演会終了後、補聴器に関する相談を行った。毎月2回、高松市において、補聴器の無料相談(ボランティア団体「補聴器ネット香川」により行われている)に協力している。	3月5日(日)丸亀市において、「耳の日記念講演会」を開催した。	「耳の日記念講演会」の紹介記事が掲載された(四国新聞)。
愛媛県	2月26日(日)に新居浜市心身障害者福祉センターにおいて、難聴医療・補聴器相談会を実施した。	①2月4日(土)10:00~15:30まで愛媛県視聴覚福祉センターにおいて「人工内耳説明会・相談会」を開催した。講演1.「子供の人工内耳の適応について」柳原尚明先生(愛媛大名誉教授・鷹の子病院名誉院長) 2.「人工内耳の術前後の問題点」篠原祐介先生(愛媛大人工内耳担当医) 3.「リハビリの現状について」高橋信雄先生(愛媛大教育学部教授)を行い併せて、人工内耳相談会も行った。 ②3月26日(日)13:00~16:45まで国際ホテル松山において「愛媛ヒアリング研究会」を開催した。「きこえと遺伝子-難聴の遺伝子診断と遺伝カウンセリング」宇佐美真一先生(信州大教授)などの講演を行った。	なし。
高知県	なし。	なし。	高知新聞に関連記事が掲載された。
福岡県	①福岡地区耳鼻咽喉科専門医会の(五孔会)主催で「耳の日」イベントを3月5日(日)、アクロス福岡において開催し、多くの人が来訪した。コーナー企画は昨年と同様に睡眠時無呼吸症候群、内視鏡による鼓膜供覧、補聴器の相談、ティンパノメトリー、聴力検査、花粉症相談、人工内耳、薬剤師による薬の相談、中途失聴難聴者福祉協会による相談、耳鼻科専門医による無料相談、子供の聴力とことばの障害相談、講演などを行った。中でも内視鏡、無料健康相談、聴力検査、睡眠時無呼吸症候群は今年も好評であった。また、地方部会は後援として参加した。 ②北九州地区耳鼻咽喉科専門医会では、3月5日(日)に北九州市難聴者・中途失聴者協会と共催で「第51回耳の日記念市民集会」を開催した。昨年同様、講演と聞こえの相談会を行った。松井慶子先生が「難聴の種類による補聴のやり方」を講演、また専門医師による難聴者への聞こえの相談を行った。	福岡地区耳鼻咽喉科専門医会の主催で、「耳の日」講演会を3月5日にアクロス福岡で開催した。今年の中川尚志先生の「子供の中耳炎が治らない」、福岡大眼科教授の内尾英一先生による「眼科医から見た花粉症」、薬剤師会の竹野将行先生の「漢方薬～はじめての一步」日本補聴器販売協会理事長の石井喬志先生の「補聴器の賢い買い方、使い方」などのテーマでの講演があり一般の生活に役立つ情報を提供した。石井喬志先生の補聴器についての講演は、興味をもつ人が多かった。また、今年はトークショーのゲストに花村多恵子氏を迎えた。	①福岡地区耳鼻咽喉科専門医会より市の教育委員会を通して公民館にパンフレットを配布した。 ②北九州地区耳鼻咽喉科専門医会では北九州市の市政だよりに掲載された。 ③大牟田医師会耳鼻咽喉科専門医会では、日刊大牟田と有明新報に「耳の日」の広告を掲載した。

佐賀県	3月4日(土) 14:00~16:00までアバンセ(佐賀市)において、「耳の日無料検診」を実施した。相談者は14名であった。	3月4日(土)にルネッサンスホテル創生(佐賀市)において会員向け講演会を開催した。講演1.「子供の難聴」井之口昭先生(佐賀大教授)、2.「咽喉頭異常感症の評価法としてのFスケールの使用経験」宮崎純二先生(県立好生館病院部長)、3.「実践的なめまい診療-限られた時間で何を診るか-」野上兼一郎先生(野上耳鼻咽喉科)	2月25日(土)の佐賀新聞に「耳の日無料検診」の広告を掲載した。
長崎県	2月19日(日)の講演会に引き続き14:00~16:00まで、会場入りロフロアにて補聴器販売業者による難聴者支援グッズの紹介、補聴器の試聴・無料相談を実施した。また、睡眠時無呼吸症候群におけるC-PAP製品の展示・紹介を行った。補聴器相談は県北部の補聴器認定技能者を有する補聴器販売業者2社に協力を依頼した。	2月19日(日) 13:00~15:00までアルカス佐世保イベントホールで講演会をダブルスライド形式で行った。一方のスクリーンに講演スライドを、一方のスクリーンには講演内容を字幕として投影した。フロアの一部は補聴器装用者のためにループシステムを設置した。講演会後のフロアからの質疑応答にはOHPを用い要約筆記にて対応した。また、会場入りロフロアで聴導犬育成会による聴導犬の紹介も行われた。講演1.「子どもの中耳炎Q&A~痛い中耳炎・痛くない中耳炎~」宮本育江先生(長崎大)、2.「睡眠時無呼吸Q&A~いびきはなぜおこるの?~」石丸幸太郎先生(佐世保市総合病院)3.「補聴器Q&A~より良く補聴器を使用するために~」神田幸彦(神田耳鼻咽喉科entクリニック)	県内の各報道機関へ趣意書を送付し協力を要請した。KTNテレビ長崎、NHK長崎放送局にて「耳の日」の告知が行われ、テレビ佐世保では当日取材に訪れ講演会の模様が放送された。長崎新聞『健康欄』に耳鼻咽喉科疾患への理解を深めてもらうために執筆・告知を行い、朝日新聞に半3段の有料広告を掲載した。地域のタウン情報誌、アルカス佐世保月刊スケジュールにも事前に告知された。
熊本県	なし。	なし。	なし。
大分県	3月5日(日) 10:00~13:00まで大分市内のトキハデパートにて耳の日無料相談会を実施した。耳鼻咽喉科医より10名、大分大耳鼻咽喉科より5名の医師が相談に応じた。相談者は61名であった。	なし。	新聞、テレビ、ラジオ(大分合同新聞、NHK大分)にて耳の日無料相談会の案内に協力してもらった。
宮崎県	3月5日(日) 13:00~15:00まで宮崎市内の大型スーパー内にあるイベント会場にて専門医による「耳の日無料相談会」を行った。相談ブースを5つ用意し、大学病院・関連病院に勤務する専門医9名と開業医1名で1時間ずつ相談を受け持った。相談件数は59名で、主に現在受けている診療に対する悩みや疑問点の相談が多く、また高齢者では補聴器使用に関する相談が多かった。これらの相談については別個に設けた「補聴器相談ブース」で認定補聴器技能士と面談してもらったり、必要があれば医療機関への紹介を行った。	3月5日(日)に無料相談会と同じ会場の別室で「耳の日講演会」を実施した。内容は大学病院からの2名と開業医2名が演者として「耳あかの話」、「子どもに多い耳・鼻・のどの病気」、「花粉症のはなし」、「高齢者と補聴器」の4題を各20分+質疑応答の時間で講演した。講演会の入場者は30名~40名であった。	県内の主要マスコミにパンフレット配布と報道部へのPR依頼を直接出向いて行った。テレビ・ラジオについてはローカルニュース内やイベント情報番組内で取り上げてもらった(MRT宮崎放送、NHK宮崎放送、UMKテレビ宮崎、MRTラジオ、FM宮崎)。このうち1社は「相談会・講演会」当日に取材があり、夕方のローカルニュース内(MRT宮崎放送)で報道された。新聞各社は記事として取り上げたところはなかった。昨年同様地方部会より有料広告を出稿するという形のみとなり、県内紙版面に「相談会・講演会」を伝える内容のものを掲載した。
鹿児島県	3月5日(日) 13:30~15:30まで鹿児島県医師会館において、無料市民講座の一環として実施した。聴力検査、補聴器相談会などを行った。	3月5日(日) 13:30~15:30まで鹿児島県医師会館において、「耳の日」無料市民講座を一般市民参加50名で実施した。1.講演と質疑応答「補聴器が必要な人、役立つ人」宮之原郁代先生(鹿児島大)、「補聴器のしくみ」朝隈真一郎先生(朝隈耳鼻咽喉科)、「補聴器の福祉補助」鹿島直子(鹿児島市立病院)2.補聴器のビデオ(日耳鼻編)を上映した。	地元紙(南日本新聞)への広告掲載、当日主催。
沖縄県	3月3日(金)「耳の日なんでも相談会」と銘打って耳の病気に関する質問を電話、FAX、Eメールで受け付けた。相談件数は電話41件(耳鳴18件、難聴12件、中耳炎6件、その他5件)とメール3件であった。	沖縄県難聴福祉を考える会で講演会(演題:「きこえの仕組みとその障害」:野田寛先生(琉大名誉教授))を主催した。	新聞紙面(沖縄タイムス)における掲載NHKラジオ、テレビにおける放送、琉球放送(RBC)ラジオにおける当日のラジオ放送出演の報道機関の協力が得られた。